

授業科目	キリスト教と現代				単位	1		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	EN10105J		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP4-1			
担当教員	神崎 明坤							
授業概要	「感恩奉仕」という建学の精神は、教義の基準を聖書におくキリスト教に基づく。授業内容は、聖書の創世記の神による人間の創造神話に基づいて主張したもの。本授業は現代における個人の尊厳、自由、教育、平等の「不可侵性」を基礎づけたキリスト教の視点を手掛かりに、世界、アジア、そして日本が直面している問題について、学生が思索する力を培うことである。							
学生が達成すべき行動目標	1、授業で扱う聖書の章と節の意味を理解することができる。 2、聖書の示す「人間の根本問題」とそれに対する「神の救済計画」を説明できる。 3、授業で学んだ範囲でキリスト教の価値観を現代の自分の置かれた問題と関係させて考え表現することができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	60	0	10	0	30	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	40	0	5	0	15	0	60	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)	20		5		15	0	40	
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準レベルのことに加えて、以下のことが実行できる。予習として、毎回授業のテーマの聖書の箇所を読み、テキストの分からない用語の意味を調べておく。キーワードと思われる用語、疑問や自分の考えを書き留めておく。授業中は新たな疑問や発見したことを書き留め、クラスで分かち合うことが出来る。復習として、ノートを見ながら、授業で学んだテキストを再度読み理解を深めることが出来る。手がかりとなるものが無くても、行動目標を実行できる。				予習として、毎回、シラバスの記載に従ってテキストを読む。聖書、テキストを準備しておく。授業中は、用語の意味を理解し、特に関心を持ったことや疑問などのコメントを書いて提出する。復習は、テキストを読み返し、授業で学んだ内容の理解を確かなものとし、また、キーワードとなる用語の意味を再確認する。課題を行い、レポート提出は期日を守る。自作のノートやテキストを見ながら行動目標として求められている内容を実行できる。				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション 現代とキリスト教、 科学時代にキリスト教を学ぶ意義	講義	聖書の代表的な用語の読み方	90
2	聖書とイエス・キリスト、	講義	聖書の目次を読む	90
3	聖書の意味論的解釈---聖書の世界、 聖書の構成	講義	聖書 創世記を読む	90
4	聖書の箴言の知恵 女性教育及び女性像・婦人観	講義	聖書箴言を音読する	90
5	アダム物語----関係性と高慢、 カイン物語----自尊心と高慢、 バベルの塔物語---関係性と権力欲	講義	聖書創世記を2章、3章、4章音読する	90
6	経済と聖書 聖書と現代経済のかかわり	講義	聖書創世記を11章～23章読む	90
7	旧約聖書は現実をどう捉えているか。 自然と人間、 自然の中に現れる神の力	講義	創世記を25章～45章読む	90
8	纏めと試験	講義	創世記と箴言	90
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				

23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	配布したプリントに用いられる用語の読み方と意味を確認しておくこと 指定された参考書を少なくとも2冊読むこと 聖書の章と節を短時間で開くことができること。			
テキスト	授業時にプリントの配布			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	聖書。 参考文献： 大村修文著『キリスト教史はじめの一步』。 桜井希著『共に生きる』。 湊晶子著『女性を生きる』角川書店 2010年。 芦名定道著『キリスト教と現代』世界思想社 2001年。 ロック著 服部知文訳『教育に関する考察』岩波書店 1967年。 ジョン・ロック著 加藤節訳『寛容についての手紙』岩波書店 2018年。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	自分とは誰で何かという自己理解(アイデンティティ)の形成や自己創造の対話の相手として、聖書やテキストと親しくなること。 そのために役立つ学習方法としては： 1、集中力を高めること 2、聖書は自分にだけ聞こえるように小声で音読すること			
達成度評価に関するコメント	試験(8回目試験 60点)、レポート 10点、レポート外の提出物 30点(6回授業で其々5点)			

